

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年7月6日（水）

2 確認箇所

Eタンクエリア

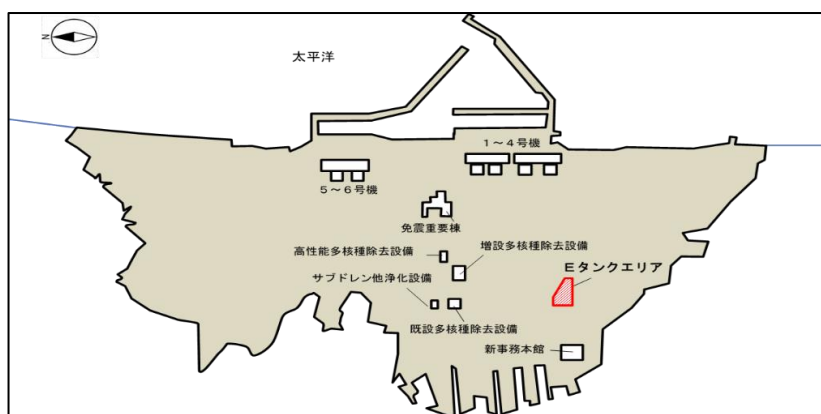
3 確認項目

Eタンクエリアのフランジ型タンクの残水移送作業の状況

4 確認結果の概要

Eタンクエリアのフランジ型タンク解体作業において、一部のタンクに底部残水（RO濃縮水）の α 核種濃度が高いことが確認されたため、漏えいのリスクを低減するために、タンク内の残水やスラッジの移送作業が進められていることから、その状況を確認した。（図1）（前回確認：令和4年6月2日）

- ・ダストモニタが入っているプレハブ小屋や発電機の位置がD2タンクの北側に変更されていた。（写真1）
- ・前回確認時（令和4年6月2日）、D2タンク下部側面に設置されていた側マンホール部のハウスが、今回の確認時には撤去されていた。（写真2）
- ・東京電力によると、D2タンクについては、残水回収および清掃まで完了しており、現在配管の撤去作業中であり、D1タンクについては底部のスラッジ回収作業中であり、回収作業後、内部の洗浄を行うとしている。また、プレハブ小屋、発電機はEタンクエリアの整備のため、一時的に移動したとのことだった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)

D1、D2タンク

(北東側から令和4年6月2日撮影)



(写真1-2)

D1、D2タンク

(北東側から令和4年7月6日撮影)



(写真2-1)

D2タンク下部側マンホールに設置されていたハウス

(令和4年6月2日撮影)



(写真2-2)

D2タンク下部側マンホールの状況

(令和4年7月6日撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。